

需要・雇用創出効果についての検討結果のポイント

平成 22 年 12 月 3 日
内 閣 府

「新成長戦略」において「需要・雇用創出基準」が政策の優先順位の重要な判断基準とされたことから、内閣府として「元気な日本復活特別枠」に対する各府省要望(全 189 件のうち、要望額約 100 億円以上の 48 件を対象)について、需要・雇用創出効果の観点から検討を行った。本検討は、当面のデフレ脱却の観点から足元の効果に焦点を当て、需要・雇用創出効果の考え方を整理し(別紙参照)、この考え方を評価の軸として行った。(注)

本検討結果は、先般、評価会議作業チームに報告したところであるが、そのポイントは以下の通りである。

(注) 評価会議における優先順位付けは、「元気な日本復活特別枠要望に関する評価の基本方針」(平成 22 年 11 月 4 日 元気な日本復活特別枠に関する評価会議決定)に定める「要望評価の 5 原則」を重視して、総合的に行われている。

1. 需要・雇用創出効果が高いと考えられる事業

(例)

- [事業番号 1103] 新しい公共支援事業
- [事業番号 1901] 安全で質の高い学校施設の整備
- [事業番号 2010] 子宮頸がん予防対策強化事業
- [事業番号 2317] 高齢者等居住安定化推進事業
- [事業番号 2322] 都市鉄道整備事業

2. 需要・雇用創出効果の観点から留意すべき点

上記以外の事業についても需要・雇用の創出に効果が期待されるものが多いが、その効果を高めるため、以下のような点に留意することが必要である。

(1) 需要面

① 財・サービスに対する直接的な支出か。(所得移転の要素があるのではないか)

(例)

- [事業番号 1802] 有償資金協力事業(国際協力機構有償資金協力部門出資金)
- [事業番号 1904] 学習者の視点に立った総合的な学び支援及び「新しい公共」の担い手育成プログラム

② 需要は十分に存在するか。(潜在的な需要は大きいか)

(例)

- [事業番号 2230] クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金(電気自動車等導入促進事業費)

③ 他の需要を減らしていないか。(代替になっていないか)

(例)

- [事業番号 1910] 文化芸術による元気な日本復活プラン
- [事業番号 2328] 高速道路の原則無料化の社会実験

(2) 供給面

① 当該事業に資金拠出を行う関係団体の意欲は強いのか。関係団体からの支出は確保できるか。

(例)

- [事業番号 1102] 民間資金等活用事業支援事業
- [事業番号 2003] 障害者の地域移行・地域生活支援のための緊急体制整備事業

② 関係団体の事業執行力は十分にあるか。

(例)

- [事業番号 1907] 元気な日本復活！2大イノベーション
- [事業番号 2103・2347] 森林・林業再生プラン推進総合対策

③ 資格要件や参入規制等の制約はないか。

(例)

- [事業番号 2004] 24 時間地域巡回型訪問サービス・家族介護者支援(レスパイトケア)等推進事業
- [事業番号 2014] 健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーションプロジェクト

3. 需要・雇用創出効果の観点を活かした対応

上記のような留意点を十分踏まえ、以下のような対応をとることが重要と考えられる。

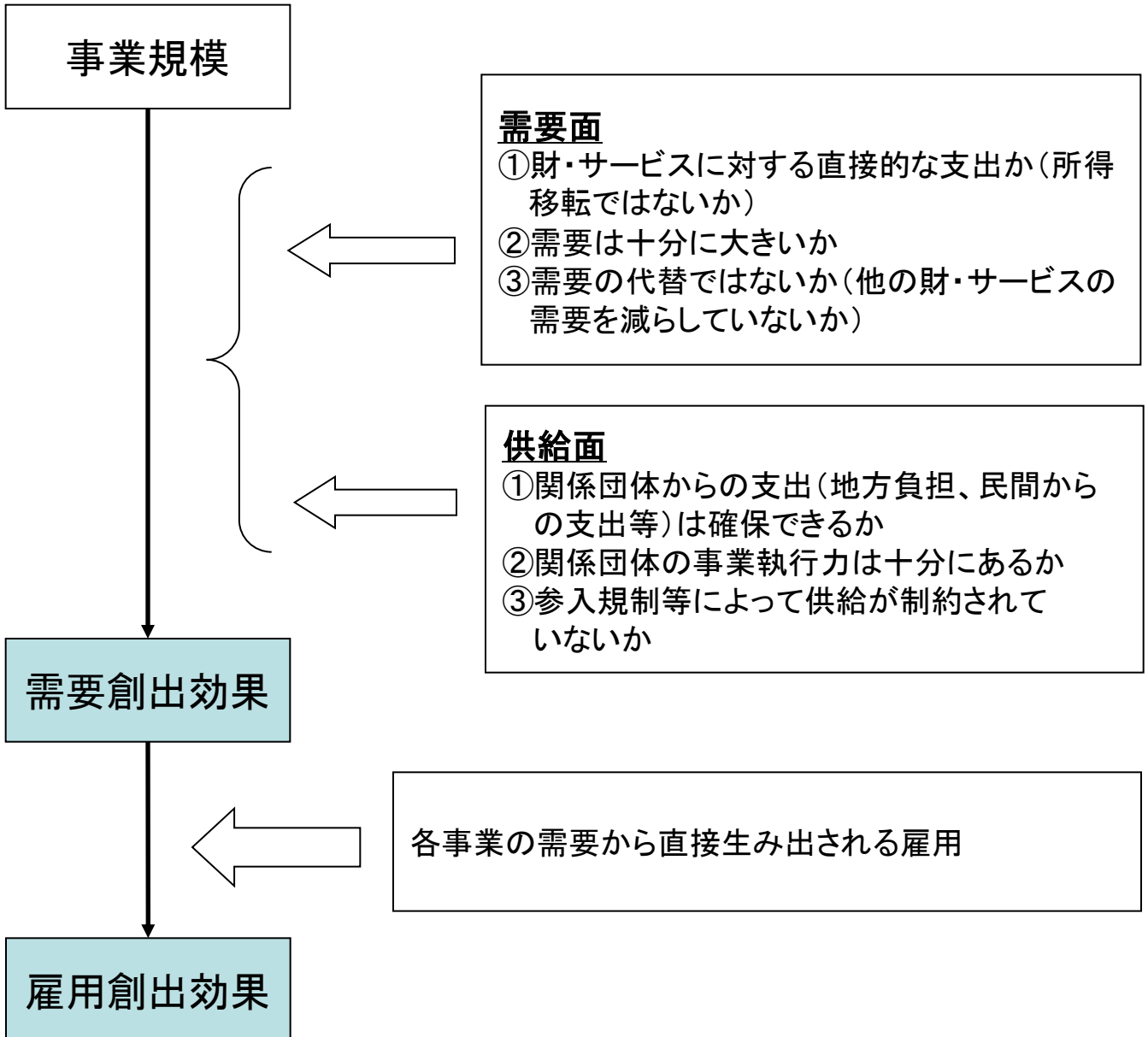
(1) 需要面の対応

- 所得移転的要素がある場合には、需要・雇用の拡大に結びつけるような工夫
- 潜在需要の強い分野への重点化
- 類似施策との調整

(2) 供給面の対応

- 関係団体(地方公共団体、民間機関)の資金拠出意欲の確認・確保
- 関係団体の事業執行が円滑になされるような取組みの強化
- 実施主体にNPO等を加えるなど必要な制度改革への取組み

需要・雇用創出に関する考え方



- (注)
- ・上記の考え方では、施策の実施による短期的な需要・雇用の増加分(一次効果)のみを対象としている。
 - ・二次的な効果(所得増による消費や投資の増加、社会基盤整備などによる生産力の増強効果など)については対象としていない。